

# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 神浦小学校区



令和6年3月17日（日）、自治会や育成協、消防団、PTA、育友会、地元事業者など15人の皆さんにお集まりいただき、神浦小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、地域が一体となって開催している「鯉・来い祭り」、高齢者の見守り、地元農産物の生産などそれぞれの立場で地域のために行っている活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①イノシシ対策について

畑に行く道がイノシシで荒らされて、だんだん狭くなっている。畑は、補助事業でメッシュを張ったり電気柵をしたりして大丈夫だが、畑に行く道についてどうにかならないか。

市の考え方

回答

有害鳥獣対策については、「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を実施しており、防護対策として侵入防止資材の貸与を行うとともに、捕獲対策としては有害鳥獣対策協議会と連携した捕獲活動を推進しています。

畑以外の被害箇所についても、自治会等で申請いただければ、被害の状況に応じてワイヤーメッシュ柵を貸与できる場合もありますので、まずは、長崎市有害鳥獣相談センター（095-841-0477）にご相談ください。

## ②コミュニティバスについて

コミュニティバスについては、扇山から2人の子供たちがコミュニティバスを使って通学をしているので、コミュニティバスをぜひ存続をさせてほしい。

市の考え方

回答

外海地区のコミュニティバスは扇山線と牧野黒崎線を運行していますが、特に扇山線は利用者数が年々減少傾向にあるため、需要に見合った交通モードへの転換などを図りながら地域の移動手段を維持したいと考えています。

## ③空き家の活用について

長崎市まちづくりアイデアコンテストで小学生が発表した「一石四鳥空き家活用プロジェクト」。空き家を地域の方が集まるような場所にしてあげるとそこに交流が生まれて、周りの景観がよくなって、防犯にも繋がるのではないかというアイデア。シンプルな発想をうまく取り入れて、空き家を有効活用してほしい。

市の考え方

回答

長崎市では、空き家を有効活用し、定住や地域コミュニティの促進を図るため、次の事業を行っています。

- ・空き家空き地情報バンク（市内の空き家・空き地の情報を提供）
- ・定住促進空き家活用補助金（市内にある一戸建て空き家住宅の改修工事等を行う方に対する支援）
- ・特定目的活用支援空き家リフォーム補助金（空き家を地域コミュニティ拠点施設等へ改修工事を行う方に対する支援）

そのほか、「子育て世帯の移住を積極的に行ってほしい」、「市営住宅が空き部屋にならないように思い切った施策をしてほしい」、「池島は産業遺産としても貴重なので、その魅力を活かしてほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



## 鈴木市長のひと言

本当に色々な課題を抱えていらっしゃるということがよく分かりました。少子高齢化、人口減少は、日本全体の流れでもあり、今までのやり方ではなかなか立ち行かない時代になってきていますが、いかに知恵を絞って、力を合わせて、対処していくか、そのための地域のしくみづくりは大切だなと改めて感じました。



## 参加者からの感想

市長とのマンツーマンに近い、距離感の近い対話ができ良かったです。

色々な団体の方の意見を聞き、参考になった。特に若い人の意見を聞けて、良かった。今後活かしたい。

色々な意見が出て大変良かった。市長が直に答えたのが良かったと思う。

みんな対市長、みんなとみんな、市長を中心に、他の町の人たちも自由に意見交換することができた。

